

科目名	哲学と倫理B		科目 コード	G52001	単位数 時間	2単位 30時間	対象 学年	1年	開講 学期	後期
区分	一般教育科目	選択必修	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
授業の 概要	取り扱う時代は、古代ギリシアから教父哲学までの範囲として、プラトン、セネカ、アウグスティヌスの原典翻訳を丁寧に読解していく。授業形態はゼミナール方式を予定。									
到達 目標	難解な書物を自分なりに解釈し、それを発表できるようになること。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 (授 業 時 間 外 の 学 修 を 含 む)					備 考		
第1回	ガイダンス		授業の目的、進め方							
第2回	プラトン『ソクラテスの弁明』		講読、問題提起							
第3回	プラトン『ソクラテスの弁明』②		講読、問題提起							
第4回	プラトン『ソクラテスの弁明』③		講読、問題提起							
第5回	プラトン『ソクラテスの弁明』④		講読、問題提起							
第6回	セネカ『人生の短さについて』		講読、問題提起							
第7回	セネカ『人生の短さについて』②		講読、問題提起							
第8回	セネカ『人生の短さについて』③		講読、問題提起							
第9回	セネカ『人生の短さについて』④		講読、問題提起							
第10回	アウグスティヌス『告白』		講読、問題提起							
第11回	アウグスティヌス『告白』②		講読、問題提起							
第12回	アウグスティヌス『告白』③		講読、問題提起							
第13回	アウグスティヌス『告白』④		講読、問題提起							
第14回	アウグスティヌス『告白』⑤		講読、問題提起							
第15回	まとめ		授業全体のまとめ							
評価 方法 及び 評価 基準	各種課題 (50%) と期末試験 (50%)。 期末試験の評価は、小論文の内容、論理的構成、表記の正確さによって行う。									
教材 教科書 参考書	プリント配布。									
留意点	自分の意見を文章化し発表する作業 (atelier) を授業時間内に設ける。教科書毎回持参のこと。									